

とよつだより

第 1 6 号

平成21年 3月1日発行
一編集・発行一
豊津まちづくり委員会
(広報記録専門部)

「第6回鹿嶋市まちづくり市民大会」開催 とよつキッズ「ほたる学習会・見学会」を発表

二月一日に第六回鹿嶋市まちづくり市民大会がまちづくり市民センターで開催されました。テーマは、「元気な鹿嶋つ子を育む市民活動を考える」でした。

豊津まちづくりセンターを代表して和田副委員長、文化福祉専門部海老沢部長、岡野体育指導委員、高安・大川・藤城の各主事と六名が参加し、総勢二百名の参加がありました。第一部では、茨城大学の長谷川先生の講演、第三部では三つの分散会が行われました。その中の「自然とのふれあい体験活動を考える」をテーマにした第二分散会のBグループで、海老沢部長が「第三回とよつキッズホテル学習会・見学会」と題した事例発表を行いました。

内容は、昨年七月五日に実施したホテル学習会・見学会について、実際に至るまでの経過、そして当日の様子をまとめたものでした。特に、今回は「男の料理教室」による手作りカレーを食してから開催であったことや、沢山の方々の協力により目的が達成できた事、等を短い時間の中で発表した。海老沢部長が熱く発表しました。わかりやすい発表に加え、手作りで見やすくまとめた資料のおかげで、参加者は豊津の取組みに非常に関心をもたれたようです。発表と資料づくり、大変お疲れ様でした。

なお、この市民大会の中で、子どもたちを地域で元気に育むためには、「子どもに限らず、価値発見が必要」「体験を通して感動する事」「子どもは何を望んでいるかを理解すること」等が大事なことであることをあらためて学びました。この事を今後の活動に活かしていきたいと思えます。



発表者 海老沢良政部長

「事業の成果・課題」

ホテル見学会・学習会を地域や学校にかかわ版で案内すると、徐々に役員や地域の方、子どもたちが「流川」に注目するようになった。情報が寄せられ、夜の水田や水路に足を運ぶ。毎日のようにホテルが話題になる。ホテルが沢山見られた頃の昔話に想いを馳せる。ホテル見学への期待が膨らむ。

なぜホテルが激減してしまったのか？原因は、農薬散布やU字溝の水路にあるのか。来年も、二年・三年・十年後もホテルを見たいという想い。

さらに学習を通して、子どもたちの気づき《「流川」にはホテルのえさになるカワナがいる。コケや草もある。水の流れも緩やかで良い。あとはある程度の泥が堆積していれば、ホテルは生育できるのだ。》

河川への取組みには難しさがあるが、子どもたちの気づきに対して、地域の大人が協力できないだろうか。夏の風物詩『ホテル』が見られる美しい豊津に向かっての環境作り、子育て支援が大事と思われる。

(レジュメからの抜粋)



第四回 とよつかるた大会開催

二月八日、この時期の風物詩となった「とよつかるた大会」が開かれました。回を数えて四回目となった今回も、未就学児から高齢者まで六十六名の参加がありました。会場の和室には元気な声と笑いが響き渡り、和気あいあいと進行了しました。大会後は、お雑煮も振舞われ、楽しい一日となりました。結果は、次のとおりです。

歴史と
文化の
伝承

△未就学児の部▽

優勝 海老沢更紗ちゃん
二位 額賀寛未ちゃん
三位 藤枝元輝くん

△低学年の部▽

優勝 君和田睦さん
二位 海老沢翼くん
三位 浅間美穂さん

△中学年の部▽

優勝 青山昂正くん
二位 小沼裕次郎くん
三位 大川歩美さん

△高学年の部▽

優勝 大内海渡くん
二位 君和田勁くん
三位 石上珠妃愛さん

△一般の部▽

優勝 渡辺健二校長先生
二位 岡野則子さん
三位 黒須ゆきさん

△高齢者の部▽

優勝 根本芳子さん
二位 君和田美智子さん
三位 額賀幸枝さん

次回も、頑張るぞ！
(参加、お待ちしております)

陶芸室に陶芸釜が一台増えました

この度、市内猿田地区にお住まいの渡辺芳男さんが、ご使用にならなくなったということで、まちづくり市民センターを経由して、当まちづくりセンターに陶芸釜の寄贈がありました。

市内で陶芸が楽しめる場所は限られていることから、有効活用させていただきます。

渡辺さん、ありがとうございました。



▲左側が寄贈の釜



毎回、趣向を凝らしたテーマで取り組んでいる「とよつキッズ」。今回は、土の味わいを肌で感じられる焼き物作りに挑戦。藤枝泰一郎先生や協力者の指導の下、カップやトレイなど、好みの形・サイズ、いろいろなものができあがりしました。みんな悪戦苦闘しながらも、できあがった作品に名前などを刻み、焼き上がりを楽しみに解散しました。

(参加児童二〇人)

私にもできた！ とよつキッズ「陶芸に挑戦」



豊津小体育館

卒業式までに完成へ

豊津小学校の体育館工事が、請負業者の経営破たんで一時的に断ったことは、新聞等で読んだ方も多いかと存じます。小学校へ通う子どもがいる家庭は、学校からの文書により、現在の状況はご存知かと思いますが、どうなっているのか心配されている地域の方もいるのではないのでしょうか。市はその後、別の業者と契約し、工事は再開しています。一時中断により、工事は当初より若干遅れています。三月中には完成の予定です。心配されていた卒業式(三月十九日)には間に合うことも確認されており、六年生は改修された新しい体育館で無事に卒業することができそうです。ご安心ください。普通教室棟も昨年五月に新しくなり、今回の体育館・特別教室棟の完成により、四月にはグラウンドも元通りになって、校庭を走り回る子どもたちの姿を見ることができるよう。新しい地域の拠点として、大事に使っていきましょう。

ポケット版 とよつ「親子かるた」解説本(マップ付き)

《今回の設定コース》

- ・かるためぐり大船津新田コース
- ・かるためぐり爪木コース
- ・あさぎやけコース
- ・とよつ小町コース
- ・神宮橋コース
- ・佃屋河岸コース



とよつ「親子かるた」
解説本発行について
平成十六年に当時の地域づくり専門部が中心になって作成したとよつ「親子かるた」。かるたの箱に収められていた解説文が今回、ウォーキングマップを綴じこんだ解説本として、新たに完成しました。これは、「とよつ悠々健康づくり」の活動の一環として、かるためぐりを兼ねた史跡めぐりと地域の散策に利用していただくとして作成したものです。今月中に各家庭に配布される予定です。これから暖かくなりますので、これを片手に豊津ウォーキングを楽しんでいきましょう。

「ふれあい運動会」「とよつまつり」「かるた大会」等、いろいろな事業に関わり、これまで以上に地域の人達と多く接する事になりました。それにより、色々な事を学び、毎日が勉強の日々です。まだまだ、主事として勉強不足ですが、これからもビシバシよろしくお願いします。

まちづくりセンターに勤め始めて

主事 藤城知子

新春の行事・村祈祷
『新田かぐら』



トントントン、トントントン、かすかに太鼓の音がする。しばらくしてまたトントントン、トントントン、闇の中からせまってくる太鼓の音。
足音がしたかと思う間もなく、玄関先で「あけましておめでとうございます！」の声と同時に若衆が扮したかぐらが現れます。
今日は新年の一月十八日(日曜日)、男衆によって新田行事の村祈祷が行われる日です。早朝より今年の当番さんが、集会所(地藏院)でお稲荷様の前にしめ縄を張りかぐらを奉納し、《奉轉讀大般若經一部六百卷》と唱えられたお札作りや、酒盛りの準備をします。
午後二時、区長さんをはじめ新田の男衆が集会所に集まり、お祝いの酒を酌み交わし、和やかなお正月のひとときとなります。
やがて夕暮れ時になると、若衆が各戸に幸せ村祈祷と「とよつ親子かるた」にもあるように、奉納したかぐらの前で手を合せ、神聖なる儀式村祈祷が始まります。最後に全員で祭頭囃子を囃し、景気をつけてかぐらが集会所を出発します。かぐらは新年のあいさつと厄除けや安全祈願のお札を納めながら各家々を回り、玄関で迎えた人達の頭を大きな口をあけてばくつと噛みます。その様子が恐ろしく、泣きだしたりする子もいます。大人もその一瞬は厳粛な気持ちになるものです。かぐらを迎えて安全祈願をし、村人にとって新春丑年の始まりとなります。
太鼓の音がだんだん小さくなっていきます。
今、かぐらはどの家でしょうか。
トントントン、トントントン・・・